

なごし 夏越の祓（大祓式）

茅の輪設置期間：令和4年6月27日（月）～7月3日（日）

祭典：令和4年6月30日（木）16時～（※総代と神職のみで行います）

◎夏越の祓とは

神社に設置された大きな茅の輪をくぐる事で疫病鎮護、無病息災を願う、須佐之男命の故事に基づいた神事です。

また、同時に、この半年のうちに知らず知らずのうちに身体についてしまった罪穢れを形代（人形）に移し祓う神事（大祓式）もごございます。

当社では祭典を30日に総代の皆様と神職で斎行いたしますが、地域の皆様におかれましては、上記の茅の輪設置期間の各日、日中のご参拝をお願い致します。



↑ 茅の輪のお守り 初穂料 500円

◎「形代」と「茅の輪のお守り」の頒布について

茅の輪のお守りは玄関などの人が出入りする所に飾り、ご家族の安全や無病息災を祈るものです。

それぞれ、すでに準備が整っており、7月3日までの間、社務所にて頒布致します。

社務所の窓口は、9時頃から16時頃までの対応となりますが、30日の大祓当日のみ、20時頃まで神職がおり、開けておく予定です。

◎神社からお願い

例年、茅の輪は6月30日の祭典の前後しか設置しておりませんが、今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点から、設置期間を長めに設けます。

また、ご参拝の皆様の接触を減らすため、形代は、茅の輪に挟まずに「納箱」にお納めください。

6月27日（月）から7月3日（日）の各日、日中のご都合の宜しい時に、分散してお参りしていただきますよう、お願い申し上げます。夕方以降のご参拝も可能ですが、納箱は社務所が開いている時間のみの設置となります。

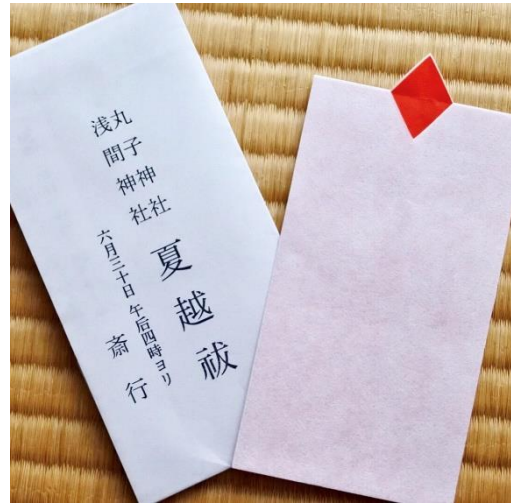
お越しの際は、マスク着用の上、周りの方々との距離を十分にとっていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

◎形代（人形）の扱い方

はじめに、形代の表面にご自身のお名前をご記入ください。

次に、形代で身体を拭い、息を吹きかけ、神社に設置しております納箱にお納めください。

身体を拭うことで身体の外側、息を吹きかけることで身体の内側の、日々生きる中で知らず知らずのうちに身体についてしまった罪穢れを形代に移し、形代が皆様の身代わりとなります。



↑形代（人形） 初穂料 100円



◎茅の輪のくぐり方

まず、輪を左廻り

次に、右廻り

最後にもう一度左廻りと

八の字を描くように、三度くぐってから神社の正面に進み、ご参拝ください。

茅の輪の近くに、イラスト付の看板も設置予定です。当日そちらもご参照ください。

お問い合わせ

丸子神社・浅間神社

沼津市浅間町4番地

Tel 055-962-0330 (9時頃～16時頃)

Instagram @marukosengen

<https://www.instagram.com/marukosengen/>

